



伝統の技 竹細工職人

 **きたひろしま**

# 議会だより

**vol.12**  
2008・5・16

**第1回定例議会〈会期：3月10日～26日〉**

平成20年度予算	.....	P2～3
一般質問	23議員が町政を問う	..... P4～11
議案審議・発議採択	.....	P12
委員会報告	.....	P13
傍聴記	.....	P14

平成20年度予算

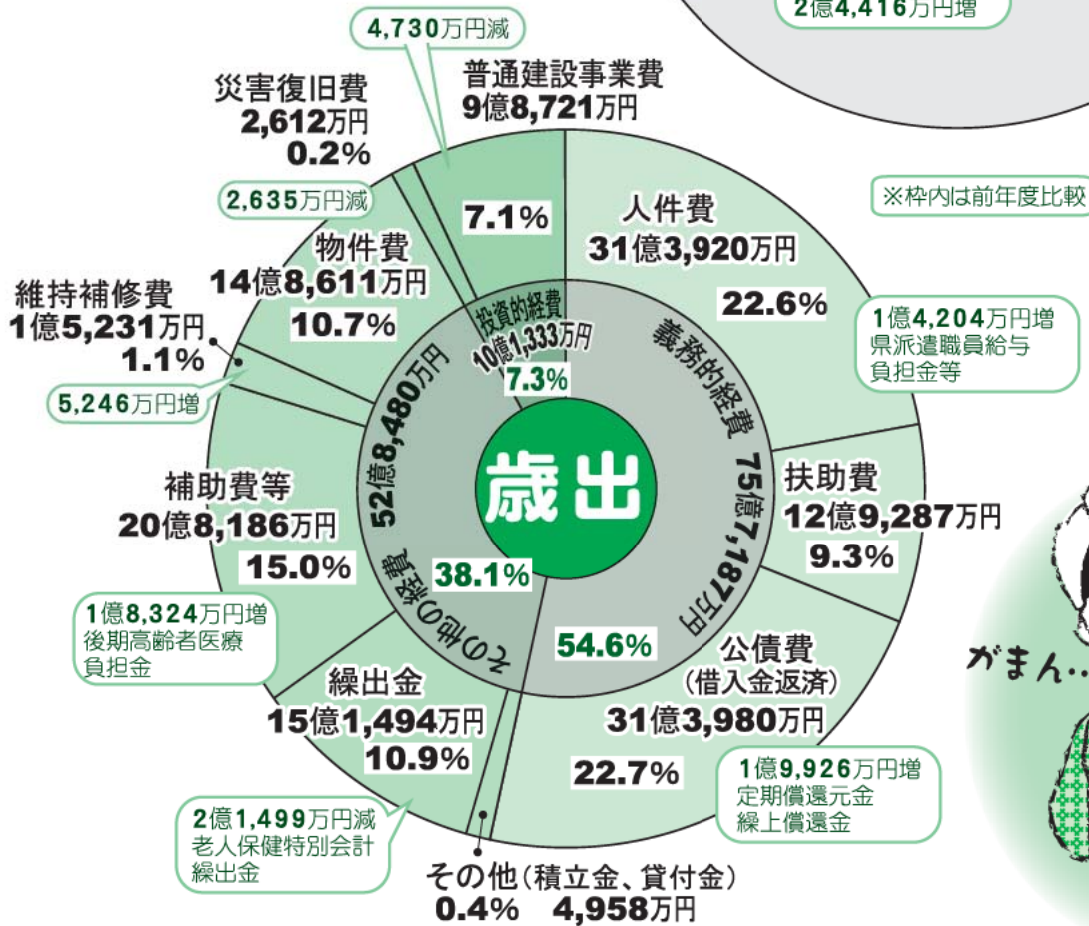
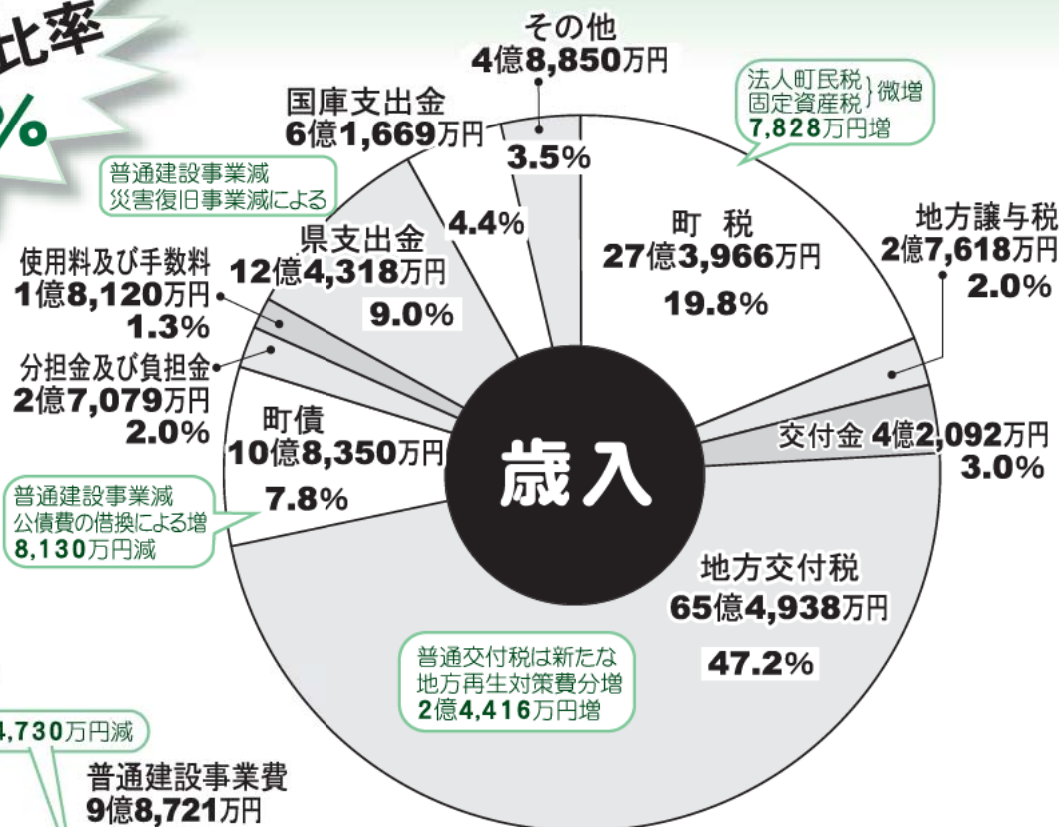
(ガマン)

# 将来見据えた“おしん”予算

微増の**138億7,000万円** (前年比0.9%増)

気になる  
実質公債費比率  
**22.3%**

実質公債費比率とは？  
借入金(借金)の返済額が一般財源(税金・交付税)収入に占める割合で、過去3年間の平均値。  
この比率が18%以上になると黄信号で、25%以上で赤信号になる。



# 予算審査特別委員会審査報告

## 関係議案15件

一部会計で反対意見もあったが

## 「原案可決」

質疑の中では、一般財源確保のために徴税の徹底は当然のことだが、固定資産税の適正課税、使用料・手数料滞納者の責任問題等、また、国・県の助成制度がある事業等の取り組み方向、費用対効果の問題等が提起された。これらはあくまでも一事例であり全体的にも目を向け考える必要性がある。

借金を抑えることも大事であるが、逆に借金をすることも必要である。合併前からの問題対応に地域振興基金を上手に活用され、土地開発公社の運営に努力されているが、なし崩しの基金を無くすることは行うべきでない。町長も「守りつつ、なお活用していく」、また基金の将来的活用も考えていく答弁であった。

道路特定財源の暫定税率維持についても、今国会で与野党攻防が大詰めを迎えており、暫定税率が廃止となれば本町の影響額二億三〇〇〇万円の試算である。現段階は「もし」は想定されていないが、最悪は予算の組み替え以外に考えられない。特別会計においても、後期高齢者医療特別会計が新設され、四月一日開始となっている。この会計は法制度に基づいたものであるが、制度等の内容は満足できないものではない。また、国民健康保険・老人保健・介護保険特別会計とも大きく関連しており、医療制度全体を考える必要がある。事業実施には国・県・町と説明資料が提供されているが、該当者である町民の反応を検証する必要はある。今さらでは遅い感はあるが、老人クラブなどの各集会所に積極的な呼びかけを行い、説明を行っていくことが大事である。また診療所・豊平病院においても該当者個々への説明は不可欠であると考える。

下水道事業・水道事業では、千代田流通・工業団地の県事業に伴う上下水道事業があり、多額の地方債借入となっている。豊平病院事業は四月一日から地方公営企業法全部適用となるが、二十年度決算から始まる連結決算などを考えると健全な運営を求め、健全化策の一つとして借換債の運用が行われ、通算約一億七〇〇〇万円の効果額は、健全化策として大きいものである。

の支援体制、災害発生時の対応、下水・簡水・医療・介護・診療所など特別会計への繰出金、行政運営に検討していただきたい。三年連続の職員給与力

### 後期高齢者医療に関する条例

#### 反対討論

梅尾 泰文

四月一日から後期高齢者医療制度がスタートした。七五歳以上の方だけを対象に、医療保険料を年金から強制的に徴収しようというものである。

この制度自体七五歳以上の該当者に周知されていない。知らないうちに引かれているというのが現状である。

高齢者に対する認識、医療制度の考え、この国の進むものという方向に憤りを覚えるものがあり、まさに高齢者差別だ。政府は、この制度に不備が多いことを認め激変緩和措置は行うものの、制度が強行されることに対して反対する。

他 反対討論者

松田 実  
杉本 武信

#### 賛成討論

中村 勝義

国の制度としてこの四月一日からスタートするこの制度は、今更否定することはできません。

誰もが安心して医療が受けられる国民皆保険として、現役世代と高齢者世代の負担を明確にし、公平性を図るだけでなく高齢者の生活を支える医療を目指す制度と思う。

高齢者の医療費が年々増加する中でこれが持続的、安定的に継続されることが大切である。説明不足から高齢者の間に不安が広がっている。更なる周知徹底と国に対し制度の見直しをすすめるよう強く働きかけを求めて賛成とする。

他 賛成討論者

久茂谷 美保之  
中田 節雄

## 一般質問

# 議員23名 町民からの熱き想いを込め 行政・教育・福祉・産業 について問う!!

**答** 消防本部として  
もこれまで各種広

**問** 全国で一般住宅  
火災が多発、尊  
命が失われている。亡  
くなった方のうち六五  
歳以上の高齢者が五八  
%を占めている。豊平  
地域では住宅火災によ  
り高齢者の方が死亡さ  
れ、そのほかにも死亡  
者はないものの電気配  
線ショートによる事務  
所の火災など二月には  
合計三件の火災が発生  
している。安心安全な  
町づくりのため、各家  
庭の火災警報器設置に  
ついて、今後の取り組  
みを問う。またタバコ  
のポイ捨て禁止の看板  
の設置も希望する。



室坂 光治

**行政**  
**問** 住宅用火災報知器の  
設置推進について  
**答** 防火活動や消防訓練とともに  
取り組み

報や消防団との連携に  
よる全戸へのチラシ配  
布、また各種イベント  
に出向いて効果的な活  
動展開と消火機器の設  
置推進をすることも、  
悪質な訪問販売被害を  
防止する目的から新防  
災組織、女性防犯クラ  
ブ及び町内各種団体を  
通じて取り組んでいる。  
また、地域防災活動  
として全地域において  
自主的な防災組織が出  
来上がっている。この  
ことを広げて講習会や  
実践的な訓練を進めて  
いきたいと思っている。  
また春の火災予防運  
動の期間もやってきた  
ので、地域ごとの消防  
団と協力して防火意識  
の高揚や火災がおこり  
やすい場所への見回り  
をし、啓発看板の設置  
も検討して行きたいと  
思う。

**答** 十八年度の数値  
は、①実質赤字比  
率は〇%（基準値一一・  
二五%未満）②連結赤  
字比率は〇%（基準値  
一六・二五%未満）③

**問** 地方への権限移  
譲を踏まえ、地方  
公共団体の財政規律の  
強化を図ることを目的  
に、「地方公共団体の  
財政の健全化に関する  
法律」が成立した。新  
たな基準として、四つ  
の財政指標が適用され  
る。この指標の公表は  
平成二十年度から義務  
付けられるが、数値の  
整備と情報の公開につ  
いて、どのように取り  
組んでいくのか。



服部 照雄

**行政**  
**問** 地方財政健全化法  
対応はどうする  
**答** 健全な財政への転換を図る

実質公債費比率二二・  
三%（基準値二五%未  
満）④将来負担比率二  
六〇・八四%（基準値  
三五〇%未満）となっ  
ている。実質公債費比  
率は県内で一番高く、  
この比率の動向が、財  
政健全化のポイントと  
なると考える。健全化  
基準の二五%を越えな  
いよう、建設事業費や、  
町債の借入額等の総額  
管理を行い、健全な財  
政への転換を図ってい  
く。  
これらの経過につい  
ては議会に報告し、町  
広報やホームページ等  
を通じて広く町民に公  
開していくこととして  
いる。



**政** **問** 地方交付税の復元とふるさと納税の実現を

**行** **答** 地方六団体で必要性を訴えていく



宮本 裕之

**問** 平成の大合併の最大の目的は、真の地方分権型社会に適応した自治体の強化にあった。しかし三位一体の改革により地方交付税は大幅に削減され、多くの地方自治体の運営は困難になってきたのが現実であり、地方交付税の復元を地方六団体と共に求めるべきである。

**答** あわせてふるさと納税の実現の考えを聞く。

**答** 地方交付税は、地方自治体間の財源の不均衡を是正するものであり、国の財政事情で左右されてはならないものである。地方六団体においても、地方共有税として地方自治体間の財源保障、

**政** **問** 議論すべき「まちづくり」

**行** **答** 議論の中からの選択集中



箕牧 智之

財源調整機能を個々のものとして明確化すべきと議論し、国に訴えている。平成二十年度に地方交付税に臨時的に地域再生対策費として四〇〇〇億円が組まれたのは、一定の成果と思われる。

**問** ふるさと納税については、地方自治体間の財源の移譲を図るもので違和感を覚える。

**答** 住宅の新築工事が増えることは、関連する業種が数多くあり景気浮上には極めて有効である。新築住宅に五年間固定資産税免除はできないか。

**答** 住宅新築には、新規定住者に対しての地域通貨による補助制度や一部固定資産税免除の制度があるが、今後若者定住につながる制度を検討していく。

**政** **問** 競争の時代の地域づくりを問う

**行** **答** 地方自治の北広島町版が出来つつある



大石 敏之

**問** 役場は、住民の立場で地域を管理経営する機能を高め、守りの行政から攻めの行政へと改めなければならぬ。これから、この豊富な情報と人材を総動員して地域開発、産業振興、交流の拡大など地域経営の視点でその機能を充分発揮すべきである。

**答** 今親の関心事は、学校教育に集中し、家庭が本来持つべき役割を軽視していないか。「子どもが学ぼうとする意欲を支援する。」この役割、機能があることを自覚する必要がある。家庭教育をどう位置づけているのか。

**答** 町づくりも議論の中から良いものが生れる。今後はそのように進める。

**問** 町づくりも議論の中から良いものが生れる。今後はそのように進める。

**答** 合併以来、創造と挑戦の取り組みをして来ている。職員的能力、資質が変わって意欲も出てきた。行

政推進、雇用対策等の提案力も濃密なものへと変化し、新しい時代の地方自治の北広島町版が出来つつある。

**問** 道徳感を高めていくことは家庭の役割だ。人格形成の基本は家庭教育にある。子育て支援の主要施策とし、家庭のみならず地域、学校と連携を図りながら、家庭教育力を高めていく。

## 政 問 副都心構想は

### 行 答 企業、町、地域と ビジョンについて協議検討



伊藤 久幸

**問** 大朝IC周辺は、中世から陰陽の文化経済の要衝として栄えてきた。北広島町図書館、保育所、小学校、新庄学園、病院があり、県営工業団地には中国木材(株)が進出し、定住と交流の拠点として位置づけられる。先(道州制)を見据えて副都心として整備する必要はある。

次の六点について質問する。

- ①企業立地に伴う関連事業の有無
- ②職場企業や商工会への働きかけ
- ③定住促進策
- ④ICの階段改修
- ⑤町道上市線の改良
- ⑥副都心構想を推進する協議会設置について。

**答** ①現時点で新たな事業はない。

②県、企業、町とで立地協定している。従業員の採用は地元優先。地域振興のため工場の建設操業に必要な資材役務の調達は地元業者優先。地域社会との連携協調に努める。

③町商工会や企業で雇用対策協議会(仮称)を設置し、労働力確保等に向けた具体策を実施。

④必要性は認識している。引き続き検討している。

⑤緊急路、優先路を考慮して進める。二十年度に調査事務を実施し地元説明をする。

⑥企業立地により経済的波及、地域全体が発展する可能性がある。企業、地域、町とビジョンについて研究検討していく。

## 政 問 定住と交流は

### 行 答 暮らし提案プロジェクトで



濱田 芳晴

**問** 団塊世代の大量退職の時代を迎え、定住と交流を目指す町として、イターン、Uターンを進めるためには条件整備をして募集活動をする必要があるのでは。

また就農希望者についても、業として生活できる農業者の見本を示し、安心・安全の食・作物作りや子育てを終えた人への生きがい農業などの見本を示し募集できないか。中山間の同じ思いをもった市町と連携をして県の交流定住促進室とのタイアップで、相談会などの募集活動が出来ないものか。

そしてボランティア活動の保険の整備の必

要性を問う。

**答** 立地定住推進室を作り、空家バンク、若者の町内移住者への住宅建設の一部補助、求職者の町内企業への斡旋などをしてきたが、新年度は暮らし提案プロジェクトを始め、企業の協力を得て、定住・観光情報を発信する「暮らしアドバイザー制度」を作り、アピールする。

就農は農業塾、ウィークエンドファーム事業業としての農業は研修制度を利用した募集をする。県とのタイアップは中山間問題でアピールして、新過疎対策室との協議で過疎問題として取り組みを考えている。

町のボランティアは保険の必要性を考えてみたいと思う。

## 政 問 どうする若者の定住促進

### 行 答 住民と連携、糸口を探る



小里 成樹

**問** 町長は「定住と交流」を町の施政方針の重要課題と位置づけられている。私も若者の定住促進は特に重要であると考えている。昭和三十年代後半には日本の高度経済成長に伴って、田舎から都市へ若い人達の大移動があり、農村は過疎化、都市は過密化という現象が発生し、更には、時代の流れの中で高齢化、少子化、遂には限界集落の言葉まで登場した。農村社会は崩壊寸前である。

現在、企業誘致は順調に進展し、将来展望としては明るい兆しではあるが、若い世代の定住条件としては、教

育・医療・保健・福祉等色々あると思う。直接対話を通して中味を深めていく必要があるのではないか。

**答** 定住促進対策は、過疎化・高齢化の進んでいるこの地域にとつて、当然重点施策として進めていく。新年度では、県や企業との連携を図りながら糸口を探っていきたく、地域の中には、ふるさとと若い世代の交流のお世話をされている方もおられるので、意見もいただきながら進めていきたい。

そして、既に移り住んでおられる方の経験談なども聞きながら、何ができるのか議論したり、住民と行政が一緒になって何かを作り上げていく努力をと考えている。

政 問 自主防災組織について

行 答 地域防災の

重要な担い手と考える



竹丸 学

**問** 災害には火災や風水災などがある。高齢化の進む中、一人でも多くの人が防災に

対する知識を得ることにより、自分達で地域を守る自主防災組織の

結成を推進すべきと思うが、どうか。

**答** 自主防災組織は地域防災の重要な担い手であり、情報提供や地域懇談会・区長会などで全地域において結成を促進していきたい。

きたひろネットについて

**問** アナログ放送が廃止になり地上デジタル放送に移行されることに伴い、この期

に大変遅れている地域情報化基盤整備事業を北広島町は進めているが、まだまだ町民に説明不足で理解されていない。

**答** 議会を含め町職員全体が一〇〇%の加入を目標に推進すべきと思うが、

**問** これまでに地域懇談会一七会場、

地域情報化事業説明会二一会場や広報などで説明してきているが、なかなか全体に理解してもらっていないのが現状である。

**答** 町職員も充分正しく説明できるようにこれから研修を重ね、事業を推進していきたい。

政 問 企業誘致雇用定住教育と子育て支援を問う

行 答 子育て支援は

総合的な検討が必要



真倉 和之

**問** 施政方針で企業誘致定住と交流雇用促進対策を言われているが千代田工業流通団地に進出予定企業の業種を問う。

**答** 先端的な企業の立地を県が進めており誘致対象企業は企業活動にかかわることであり社内極秘で進められている。

**問** 定住促進に積極的な姿勢を評価する。「きたひろしま暮らしアドバイザー」の活動時期は。

**答** 定住情報の発信定住希望者の相談空家空き地等現地案内など新年度早々非常勤での公募を行い定住対策を推進する。

**問** 若者が定住するには子育て支援の

充実であり一〜二年後を目途に〇才〜三才の乳幼児の通院医療費の無料化の検討する考えはないか。

**答** 子育て支援は保育所子育て支援センター放課後児童クラブ等の運営育児相談の充実等要望があると思う効果的な子育て支援策はどこを充実するか総合的に検討の必要があり乳幼児医療費支給制度は最低限の負担はして頂く必要がある。

**問** 若者が定住を選ぶが教育の充実した町を選ぶ義務教育振興プランの答申(案)の教育の質的課題で重点的とされる事項を問う。

**答** 答申(案)の質的課題で重点的事項は教育委員会の教育指導体制を強化する基礎学力の強化不登校や生活指導生徒指導上の諸問題の対応を一層進める。

政 問 「財政健全化法」本町の数値予測は

行 答 平成二十五年度には健全指標に



田村 忠紘

**問** 実質公債費比率が平成二十一年度に過去最高の二四・七%になる。(危険指標二五%以上)平成二十五年まで健全指標の一八%以下に達成の計画であるが、年次別の計画は。

**答** 平成二十年度二四・三%、二十一年度二四・七%、二十二年度二二・八%、二十三年度二〇・一%、二十四年度一八・一%、二十五年一七・一%を予測している。

**問** 急激な修正は行

政が停滞したり、硬直する懸念がある。もう少し長い期間をかけて修正する考えはど

うか。

**答** 次の理由により七年間で一八%以下にしたい。

- ① 国の目標で七年間が適当とされている。
- ② 長引けば行政の自主性が損なわれる。
- ③ 対外的な信用を失わないため。

医師・看護師の確保

**問** 広島県が医師や看護師等の確保に取り組む市町を支援するため、新たに創設した「緊急医療支援市町交付金」制度に本町は乗るべきと思うが。

**答** 医療スタッフ不足の本町にとって、良い制度であると評価している。

詳細な内容が示されたら豊平病院・芸北診療所群において活用していきたい。

## 教育 問 教育の正常化、充実を求める

教 答 心豊かで健やかな心身の健全育成に努める



藤井 勝丸

**問** 教育再生会議の提言、中教審の教育振興基本計画、学習指導要領の改訂、本町における教育再生プランの策定など、教育の再生方針が示されている。特に文武両道の充実を求める。

**答** 德育・体育の充実を。心豊かでたくましい青少年の育成が重要であり、教育の一環として充実する。

**問** 町内中学校は正常化しているか。中学校選択の実態とその理由を問う。

**答** 生徒指導上の問題や授業効果がやや下がっている学校があり、校長を中心にPTA等とも連携して指導している。千代田地域から一二人の生徒が大朝中学校を選択している。理由は生活指導、小中一貫教育、クラブ活動などである。

**問** 文武両道による

## 教育 問 どうする

教 答 計画的推進に取り組む



松田 実

**問** 義務教育振興プラン策定委員会の答申に住民からの要望、意見が活かされたものと期待する。また、概要説明の中で「教職員が能力を発揮できる環境づくりが必要」との指摘は高く評価をしている。

**答** 意見・要望を活かす方向で慎重審議されているようだ。人的教育条件が必要で、自分自身の教育力を伸ばすことに向い合う時間が必要と考える。

**問** 給食施設問題に含め、「食育」の考え方と安全な「食」を基本に地産・地消と旬の味を取入れることが大切である。我が町の教育は、国の中教審か教育再生会議のどちらを指向していくのか。

**答** 意見・要望を活かす方向で慎重審議されている。人的教育条件が必要で、自分自身の教育力を伸ばすことに向い合う時間が必要と考える。

**問** 給食は食育基本法に基づき、食育推進協議会を通じて取り組み、児童・生徒に理解を深める。中教審は法律上の立場、再生会議は当面の場、再生会議は当面の場、取組みの歴史を大切にしていきたい。道徳教育でヒューマニズムの形成を振興計画に織り込み、生活を通じた人間形成に努める。

**答** 意見・要望を活かす方向で慎重審議されている。人的教育条件が必要で、自分自身の教育力を伸ばすことに向い合う時間が必要と考える。

## 教育 問 通学区域弾力化の実態を問う

教 答 小学校六件、中学校一二件



中村 勝義

**問** 学校選択制度を導入して二年となる。選ぶ側の立場からは複数の学校が選べ、自分たちで選択した学校に通うんだという自覚と責任を持つようになる。一方選ばれる立場の学校は、地域や保護者から信頼される学校づくりがより一層進むものと期待される。

**答** 区域↓八重小一件、壬生小区域↓八重小一件、壬生小区域↓八重東小一件、豊平南小区域↓豊平西小一件、千代田中区域↓大朝中一二件、通学費補助は自転車通学者で4km越える生徒で距離数により800円から2千円、バス通学者は6km越える生徒で学生割引乗車券購入金額となる。

**問** 数は、次のとおりとなる。大塚小区域↓大朝小二件、八重東小

**答** 面積は緩和されたが補助事業を受けようとする場合、広島県独自の採択基準に抵触する。

**問** 農水省は、平成十九年度から実施した農政三対策の見直しを決定し、二十年度から仕切り直ししてスタートする。そのメリットは。

**答** 本町へのメリットは乏しい。



育

問 学校給食での地産地消は

教 答 これからも食育の推進に努める



藤田 重昭

**問** 今年になって冷凍ギョーザ中毒事件が発生し、「食の安全・安心」にかかわる社会問題となっている。

**答** そこで、「学校給食での地産地消、自給率の向上」について伺う。  
 ① 外国産を含む冷凍食品に依存する割合は、  
 ② 身近で、生産者の顔の見える安心な食品に切り替える必要性は、  
 ③ 「安心・安全」志向に応えるためには、



日山 静樹

育

問 千代田中学校の状況は

教 答 義務教育振興プラン策定委員会の答申を待つ

**問** 「食の大切さ」が問われている中で、千代田中だけ給食がない。取り組みは、

**答** このままで良いとは考えていない。策定委員会の答申を待つ対応する。  
**問** 弁当を持参できない家庭環境もある。今年度自由選択の中で給食がないことで区外を選択した生徒はいないか。  
**答** 給食が大きな要因となつていない。選択された理由は校風、学校独自の取り組み、クラブ活動等が要因と考えられる。  
**問** 千代田中に不安を感じている保護者もおられる。これか

らの取り組みは。  
**答** 保護者会の開催、教職員と教育委員会が一丸となって改善に努める。県から学校指導係の派遣も受け、信頼される学校づくりを目指す。

**問** 小学校の制服について伺う。本町一七校のうち八校が制服で登校している。同じ服を着ている者同士が学校内で連帯感を持ち、秩序や規律を保ち愛校心が育つのではないか。制服を着用した「学校に行くんだ」「学ぶんだ」という意識が湧くのではないか。  
**答** 制服については学校と保護者の話し合いで決定されている。児童の連帯感、集団行動する上でのメリツトはある。今後各学校で議論があれば教育委員会としての見解を伝えていきたい。

社

問 問題あり

後期高齢者医療制度

福 答 応分の負担が必要



梅尾 泰文

**問** 今年四月一日から七五歳以上の方全員が、これまで加入していた健康保険から脱退して新たな後期高齢者医療制度に移行し、全員が保険料を支払うことになる。

**答** ① 制度について十分周知はなされているか。  
 ② 保険料はいくらか。  
 ③ 支払い方法はどうか。  
 ④ 払えなければどうなるか。  
**答** ① 広報は十分だが行った。  
 ② 平均四万三三〇〇円。  
 ③ 年金額（年一八万円以上の人は）からの天引き。  
 ④ 保険証が使えないことになる。

**問** 高齢者いじめの制度なので、中止や廃止の声が多くあがっているがどう考えるか。  
**答** 激変緩和措置が講じられている。

**問** 北広島町（芸北、大朝）の上空は米軍の飛行経路や、訓練空域になっており、県内で最も飛行目撃件数の多い地域である。離発着時の騒音、爆音も健康破壊を起こすが、墜落事故や、女性の暴行も後を絶たない。岩国基地に空母艦載機（五九機）移転容認の市長が誕生し北広島町はこれまで以上、危険にさらされるが、現状認識と対応を問う。  
**答** 飛行回数多さは認識している。調査結果を県に報告している。

## 社 問 保育料の軽減を

福 答 子育て支援室を新設して 総合的に考える



杉本 武信

**問** 本町の保育料は所得階層にもよるが、広島市などと比べて高い。芸北地域は合併前に比べかなり高くなった。近年、出産が減少し、芸北地域では年間十人以下、大朝・豊平地域では二十人以下となっている。子育て支援は緊急の課題である。雇用形態が不安定で若者の生活は苦しい。まずは見劣りのする保育料を見直してはどうか。

**答** 経済的な側面のみならず子育て環境など総合的な視点から子育て支援室を設けて検討する。

## 芸北民俗芸能保存伝承館の活用

**問** 新町建設計画の

中に千代田地域へ「ふれあいセンター」の計画があった。しかし箱物の建設が困難な今日、当面は遊休状態の芸北民俗芸能保存伝承館を改造して福祉・保健の相談窓口や妊婦検診や乳幼児健診などの子育て支援、あるいは社会福祉協議会の事務所に活用してはどうか。

**答** これから工場着工など折々に町が窓口になって商工会など地元と交流の場を設ける。

## 進出企業との交流を

**問** 県営大朝工業団地へ進出する中国木材(株)を大朝地域協議会へ紹介して地元と信頼関係を結ぶ出発点としてはどうか。

**答** 救急患者を収容した救急車が受入病院を探しまわるが、次々と受入拒否があり遠くの病院まで搬送される事態が発生している。幸い北広島町内には拠点病院があり町民は安心できるが、重傷患者などやむを得ず町外に搬送される場合も多くあると思うが、救急患者の町外搬送システムと病院の受入拒否はないか。

## 救急患者の町外

**問** 小中学校の修繕箇所(取組み)と芸北中学校寄宿舎の対応は。また今年度整備する「北広島バザール」で、道の駅の売り場の拡張ともうまく組み合わせることを考えていきたい。

**答** 以前の質問において、失われつつある農村の文化・技術を活用した経済活性化のため、農村工芸士等の称号で認定し、活動の場を設ける提案をしたところ、町長部局と教委部局と連携をとって検討を進めるとの答弁であったが、その後の経過について問う。

## 社 問 救急患者の受け入れ 病院は大丈夫か

福 答 受け入れ拒否はない



藤堂 修壮

**問** 小中学校の修繕箇所(取組み)と芸北中学校寄宿舎の対応は。また今年度整備する「北広島バザール」で、道の駅の売り場の拡張ともうまく組み合わせることを考えていきたい。

**答** 現在の質問において、失われつつある農村の文化・技術を活用した経済活性化のため、農村工芸士等の称号で認定し、活動の場を設ける提案をしたところ、町長部局と教委部局と連携をとって検討を進めるとの答弁であったが、その後の経過について問う。

**問** 小中学校の修繕箇所(取組み)と芸北中学校寄宿舎の対応は。また今年度整備する「北広島バザール」で、道の駅の売り場の拡張ともうまく組み合わせることを考えていきたい。

**答** 現在の質問において、失われつつある農村の文化・技術を活用した経済活性化のため、農村工芸士等の称号で認定し、活動の場を設ける提案をしたところ、町長部局と教委部局と連携をとって検討を進めるとの答弁であったが、その後の経過について問う。

## 業 問 農村の文化・技術を活用した 活性化方策のその後は

産 答 道の駅・北広島バザールと うまく組み合わせることを考えたい



中田 節雄

**問** 以前の質問において、失われつつある農村の文化・技術を活用した経済活性化のため、農村工芸士等の称号で認定し、活動の場を設ける提案をしたところ、町長部局と教委部局と連携をとって検討を進めるとの答弁であったが、その後の経過について問う。

**答** 現在の質問において、失われつつある農村の文化・技術を活用した経済活性化のため、農村工芸士等の称号で認定し、活動の場を設ける提案をしたところ、町長部局と教委部局と連携をとって検討を進めるとの答弁であったが、その後の経過について問う。

**問** 現在の質問において、失われつつある農村の文化・技術を活用した経済活性化のため、農村工芸士等の称号で認定し、活動の場を設ける提案をしたところ、町長部局と教委部局と連携をとって検討を進めるとの答弁であったが、その後の経過について問う。

**答** 現在の質問において、失われつつある農村の文化・技術を活用した経済活性化のため、農村工芸士等の称号で認定し、活動の場を設ける提案をしたところ、町長部局と教委部局と連携をとって検討を進めるとの答弁であったが、その後の経過について問う。

## 北美展の今後は

**問** 合併前は公民館

との共催で利用料を減免されていたが、今年度から料金が必要というところで北美展の開催が危惧されている。教委としても文化・芸術の振興の観点からも減免措置を講じて支援するべきと考える。

**答** 町内の雇用対策協議会で各企業とも連携し、イベント、スポーツ大会等での交流を考えていきたい。

**問** 町内企業には多くの外国人の方が働きに来ておられ、国籍・言語も多様である。少子化による労働力不足により今後増加していくものと考えますが、交流の視点から何らかの支援策が必要では。また今年度整備する「北広島バザール」で、道の駅の売り場の拡張ともうまく組み合わせることを考えていきたい。

**答** 町内の雇用対策協議会で各企業とも連携し、イベント、スポーツ大会等での交流を考えていきたい。

**業** 問 農業振興対策で  
食糧自給の向上を  
産 答 道の駅の集客増を図る



亀岡 章治

**問** 毒入りギョーザで輸入食品の安全性が厳しく問われているが、食糧の六一％は外国産だ。輸入を減らし、自給を増やし安全で安心な食糧の生産は中山間地農業が担うべきだ。

**①** 世界的に米不足が深刻化しているが、農水省は常に米の過剰を大宣伝している。国産米の現在の在庫量を伺う。

**②** 転作上乘せの米減らし対策よりも、米消費拡大対策こそ必要ではないか。

**③** 中国野菜の輸入が減っている今こそ国産の農畜産物の生産拡大と販売の拡充を求める。

**答** **①** これはあくまで農水省の情報であるが、二八〇万トンと聞いている。

**②** 十九年産米の生産調整未達成県が三三県あり過剰米が発生し、主食用米需給調整として転作上乘せ助成事業で対処する。また米消費拡大対策については単町施策では困難と考える。

**③** 確かに国産野菜の生産拡大のチャンスと思っているし来年度も出荷用野菜の奨励や、特例作物のトマト・ブロッコリー・キャベツ等に乗せ助成を行い、施設ハウスの設置補助も七棟の申請を受けている。重点事業としては道の駅活性化「北広島バザール」事業で更なる集客機能の強化で、町内農畜産物や加工品などの販売拡大の効果を上げていきたい。

**業** 問 農業振興策とリレー栽培は  
産 答 J A広島市・広島北部連携で  
キャベツを中心にリレー出荷



久茂谷美保之

**問** 本町の基幹産業の農業振興のため、標高差、温度差を生かしたリレー栽培について検討を重ねられた結果はどのようになったのか。

**答** 県事業の就農者支援策がなくなった現在、本町としてどのように考えているのか。

**問** 新規就農者について支援交付金の交付と昨年に引き続き農業塾に力を入れ担い手を育成する。

**答** 道の駅活性化事業として「北広島バザール」を新たに立ち上げ、新たな作目の栽培と販売の拡大を図る。



また、J A広島市やJ A広島北部の連携で、キャベツを中心にリレー栽培、リレー出荷に取り組む。

**問** 老朽化している社会福祉協議会千代田支所は、プレハブ造りである。現在利用が少ない伝承館を利用することはできないか。

**答** 現在の伝承館の利用は少なく、今後、保健福祉・公民館活動も含め検討する。

**業** 問 どうする  
原木供給体制の整備  
産 答 林道や作業道の整備に取り組む



中野 雅司

**問** 中国木材株式会社を誘致したこと、北広島町はもとより、近郷の山林保有者にとつて喜ばしいことだ。

**問** 長い木材不況で人工林は手入れがされない状態が続いており、間伐材は切り捨て放置されているが、小径木を原料とする集成材やプレカット加工を扱う工場が今朝に立地すれば、間伐材が有効利用され、山林保有者に大きな経済効果が期待できる。

そのためには、今後長期にわたる原木搬出供給体制の整備が必要で、林道や作業道の新

設や既存の道路の延長などにより、奥地の森林開発が求められる。これらの対応について伺う。

**答** 中国木材株式会社の大朝工業団地への進出に伴い、広島県の木材集出荷の拠点となる施設が所在する町として、林道や作業道の開設整備について広島県など関係機関に強く要望する。

林道整備や路網密度の向上は、林業経営の基礎づくりであり、コスト削減の効果が発揮され、林業関係者の経営意欲を向上させる。今後とも林業振興施策の柱として、関係機関と連携を強めながら強力に事業推進を図る。

## 議案審議

### 上程された議案（七一議案）

各議案とも慎重に審議した結果、それぞれ全会一致、または賛成多数で可決しました。

○平成二十年度予算（一般会計他）

一五議案

○条例制定（主なもの）

◎北広島町情報基盤整備事業  
基金条例（全員賛成）

※経済事情の変動等により財源が不足する場合等、財政運営健全化を図るため当事業に基金を設置するもの。（財源は敷設した光ケーブルの一部を携帯電話会社に貸し出す利用料を充当）

◎北広島町後期高齢者医療に関する条例

（一八対六の賛成多数）

※平成二十年四月の後期高齢者医療制度施行に伴い、町が行う事務（保険料の徴収等）に関する規定を定めるもの



## 議 発

## 採 択

### 介護療養病床廃止・医療療養病床削減の中止を求める意見書

地域住民が、いつでも、どこでも安心して医療や介護を受けられるよう、以下のことを求める。

1、介護療養病床廃止・医療療養病床大幅削減計画を中止すること。

2、地域住民が安心して暮らせるように、介護保険事業計画の参酌基準を見直し、医療・介護・福祉制度や施設等の基盤を充実させること。

平成20年3月26日

提出先 内閣総理大臣  
厚生労働大臣  
広島県知事

### 「非核日本宣言」を求める意見書

核兵器のない世界を実現するため、日本政府は「核兵器廃絶の提唱・促進」と「非核三原則の厳守」を改めて国連総会や日本の国会などの内外で宣言し、非核日本宣言として各国政府に通知し、核兵器のない世界のために努力することを求める。

平成20年3月26日

提出先 内閣総理大臣  
外務大臣

### 在沖縄米軍海兵隊員による少女暴行事件等に関する意見書

沖縄本島において、在沖縄米軍海兵隊員による少女暴行事件が発生し、沖縄県民に多大な不安を与え、国民に強い衝撃をもたらした。

本県も県内とその近接地に米軍基地等を抱えており、米軍人の行動に対する住民の関心は非常に高い。政府は国民の人権・生命・財産を守る立場から、米軍人による犯罪の再発防止に向けて取り組みをされるよう求める。

平成20年3月26日

提出先 内閣総理大臣  
防衛大臣  
外務大臣

# 委員 会 活 動 報 告

## 総務常任委員会

三月定例会の中で、三日間の委員会という厳しい日程で、予算関係を中心として開催した。

- 一、補正予算は最終でもあり、精算によるものか、不用によるものか、また事業効果について説明を求めた。
  - 二、新年度予算については、予算全般、そして新規事業、重点事業について、関係各課から予算内容、事業内容、そして事業効果について説明を求めた。
  - 三、条例関係議案が多数上程されているため、関係課から提案理由の説明を求めた。
  - 四、視察研修について、六月中旬頃に環境対策をテーマに研究する。
- また、町有林を含めた町有財産について、統一様式での台帳整備を求めた。



## 福祉保健常任委員会

### 視察研修

一月二十四日

- ① 消費生活相談室（活動状況について説明を求め）
  - ② 豊平病院（公営企業法全適経営健全化について説明を受ける）
- 三月二十一日

- ① 双葉保育所 ② 都谷保育所
- ③ とよひら小規模多機能ホーム
- ④ ぴいばぶワークショップ

### 次の課題について研修議論

- 一、後期高齢者医療制度について
- 二、国保条例の改正について
- 三、北広島町直営病院・診療所等の中期経営健全化計画について
- 四、平成二十年予算について（町民課・福祉課・保健課・豊平病院・芸北ホリスティックセンターから説明を受ける。）

### 陳情等の審査

次の二件を採択

- 一、介護療養病床廃止・医療療養病床削減計画の中止を求める意見書
- 二、C型肝炎ウイルス感染者に対する支援について

## 産業建設常任委員会

### 視察研修

一、葉っぱビジネス（徳島県上勝町）視察

### 「廃村危惧地から世界注目の町へ」

七四才から事業に関わり、九四才の今も現役で活躍中の方をはじめ、多くの高齢者が携わっておられる。年金受給者から納税者となり、高齢化率トップの町が医療費の少ない町へと変わった。八〇歳でインターネットを活用し、「光ファイバーになるけんナー」と言い、若者が帰ってくる町となっている。

- 二、① 島根あさひ社会復帰促進センター（浜田市旭町）視察
  - ② 広島県中古自動車販売商工組合（JU広島）（広島市西区商工センター）※スポーツパーク跡地進出企業
  - ③ 中国木材㈱（呉市）※大朝工業団地進出企業
- 三、センチピートグラス（芝）研修  
除草作業の省力化（ネット利用）  
芝吹き付けの研究  
（所属委員は各自実施研究する）



# 議会傍聴記

東京都昭島市 高木美栄子

私は東京から郷里北広島町（芸北）に帰り、定例議会の傍聴の機会を得ました。そして、改めて郷里を愛している自分を感じました。この傍聴では私が期待していた以上に北広島町の状況が分かりました。

自分たちの問題が議会で話され、次々と決められていることを町民が傍聴していくことは、とても大切なことだと思います。そのためにも、いかにして傍聴者を増やし町政に町民が関心をもてるようにしていくかが大事な課題だと思います。私も一般質問を二日間傍聴したかったのですが、自宅に空いた車がなく、バスは千代田に向けてなくて、やむを得ずあきらめました。今もって残念に思っています。バスで千代田に（本庁）直接行けるように一日も早く改善してほしいと思います。これは町民にとっても重要なことだと思います。

この傍聴で親しく話ができたと高齢者の方があり、とてもうれしく思いました。若い方は勿論ですが、高齢の方には時間があるのでそういう方が参加しやすくなるといいですね。

町民の福祉・教育を大切にしている町政をしていただきたいと遠くから願っております。

## インターネットで議会中継が見られます！

本会議（委員会を除く）をすべて中継します。  
この3月議会で、約3,000件のアクセスがありました。  
議会が終わった現在も、録画を見ることができます。  
（北広島町のホームページにアクセス、議会中継へ進んで下さい。）

現在取り組み中の情報基盤が整備されましたら、お茶の間のテレビでも見られるようになります。



北広島町ホームページ → 議会中継

## 表紙の解説



一竹細工職人  
上東 博さん  
（豊平・長笹在住）

理屈ではなく、自分の力で実践することが大切。「やる気が人生を充実させる」は上東博さんの信念です。

上東電業社を息子さんに譲られて、町の土産物づくりの一つとして竹細工をはじめられ、昨年まで十数年間、小学校の入学児童に田楽ばやしの鉛筆立てを寄贈、「二生懸命に生きる」のメッセージを伝えてこられました。表紙の作品は「八岐大蛇」とかえるのサーカス一座です。これからもみんなを励まして下さい。

## あとがき

厳しい財政状況下での新年度予算審議。インターネットによる議会中継初体験。いつにも増して緊張した雰囲気での会議が進められました。

この議会、だよりでは、紙面の制約から発言を要約せざるを得ません。詳しくは、インターネットの録画で、発言のすべてをごらん頂くことができます。